

松島委員 今、リアルな税関との共同作戦のことも例示を挙げていただきました。荷物をあけさせるという強権は入国管理にないと思いますので、これは税関とも、今や税関は税金を取るところじゃなくて、こういう密輸で悪いことを、例えば、密輸でにせブランドなんか入れないようにとか覚せい剤入れないようにとか、そういうことが主たる仕事になっていますが、こういう怪しげな人が入りそうなときもぜひそうやって力を合わせてやっていただきたいと思っております。

伊藤外務政務官にお越しいただきまして、伺いたいと思っております。二つございます。

一つは、日本人のパスポートが、三月二十日、ちょうど来週の月曜日でございます、三月二十日の発行分からIC入りの新しいタイプのものになると聞いております。どんなものであるのか、そしてまた、それが治安対策上どのような効果があるのかを教えていただきたいと思っております。

伊藤大臣政務官 松島議員にお答えいたします。

このICチップには、現物をお見せした方がいいと思いますが、サイズは同じなんで、これは五年と十年ですけれども、こちらに今までのような通常のものがございます。この真ん中ぐらいのページを見ますと、ちょっと折れないプラスチックが入っていますね。このプラスチックの、余り言うとあれですけれども、この辺にICチップが入ってまして、この辺にアンテナがあります。

こちらの顔写真情報、あと、氏名、生年月日等の情報がコード化されてここに入っております。通常こちらを偽造するんですけれども、このコードは秘密になっておりますので、なかなかこれは偽造できません。ですから、この情報とこの情報が照合しないと、これは偽造だということになるので、相当今度は偽造が困難であるということになると思っております。

このICチップには、ICAO、国際民間航空機関の国際標準に基づき、今申し上げたように、顔画像のほか、氏名、生年月日、旅券番号、発行年月日等の旅券面の情報が、電磁的な方法でコード化されて記録されています。今申し上げたように、顔写真等を張りかえてもこちらと照合しませんので、偽造ということがすぐ判明するということで、今後のいろいろな密入国に大変効果があるものというふうに承知しております。

松島委員 つまり、顔写真のところを上手に張りかえるのは難しいような気がするのですが、昔のパスポートに比べれば今の方がずっとよくできていますから難しいと思っておりますけれども、刷り込み式でも張りかえることが今まではできた。それが、おもてのところだけ変えても、中のICチップと一致しないと、これはにせものであることがわかるということですね。どうもありがとうございます。

もう一つ質問なんですけれども、三月二十日発行分からということなんですけれども、ICが入っているのがいいなと思って、これまでの自分のを切りかえてもらおうと思ったら、できるんですか。

伊藤大臣政務官 できると承知しておりますけれども、詳しい手続については事務方から答弁させます。希望者には、登録していただければ、発行することは可能でございます。

松島委員 了解いたしました。この三月二十日から新しいものになるというのも余り知られていないので、これもぜひ世の中に多く知られるようにしていただきたいなと思っております。

せっかく来ていただきましたから、伊藤外務政務官にもう一つ質問させていただきたいと思えます。

私、せんだって、この法務委員会の一般質疑で、韓国人の短期滞在査証の免除について質問させていただきました。それは、すりなど犯罪面で問題があるという観点で質問させていただいたんですが、前回時間切れだったので、それにつけ加えてもう少し伺いたいことがございます。

韓国に対してパスポートの精度の改善などをこれまで日本は求めているのか、韓国のパスポートのレベルというものについて教えていただきたいと思えます。

伊藤大臣政務官 前回お答えしましたように、韓国人に対する短期滞在の査証免除ということを実施することにしたわけでございますけれども、この際、犯罪対策の重要性というものが非常に考えられるわけです。このことに対して、日本は、韓国政府にいろいろお話ししたわけでございますけれども、韓国政府は、写真転写式の新型旅券を導入すること、そして当該旅券と住民登録の写真というものを電磁的に照合することを可能にする旅券自動読み取り機の設置ということによって、出入国管理を的確に行うという措置をとってきたと承知しております。

また、韓国人の我が国における犯罪への対策として、治安問題に関する日韓協議の立ち上げ、日韓刑事共助条約の締結交渉なども進めてまいりました。治安問題に関する協議においては、韓国人不法滞在者の減少、偽造、変造旅券の対策、また韓国人すり団対策等について、両国の捜査当局の出席も得て意見交換を行ってまいりました。また、日韓刑事共助条約は、本年一月二十日に署名が行われ、現在両国で早期批准に向けた作業を進めておるところでございます。

政府といたしましては、以上申し上げたような出入国管理及び犯罪対策における韓国側の努力も十分に踏まえて、また、韓国側においても、我が国に対して同等の査証免除措置をとることを前提として、引き続き韓国側でも犯罪対策に取り組むことを求めつつ、この査証免除というものを行うということを決めたところでございます。

松島委員 了解しました。

最後に、副大臣に伺いたいと思っております。

日本人や在日韓国人で、自分の意思で指紋を提供し、入管にかかる時間を節約したい人に対して、今回、便宜供与が与えられるようになるというふうに聞いております。どのような制度でしょうか。